
幻獣ぱれっと!

橘 猫音

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

幻獣ぱれっと！

【Nコード】

N3859Z

【作者名】

橘 猫音

【あらすじ】

彼の住む北ファイセクト大陸には、いや、正確には彼の住む世界には、「魔物」が住む。魔物の種類は人間に有害な「境獣」と人間に無害な「幻獣」に分けられる。境獣に対抗する為に完成させられた技術、「境獣転生」で転生させられ、人になった獣は人にとって奴隷にするのに都合が良く、やがて人間たちは「幻獣」までもをその的にするようになる。

身近で転生した幻獣が奴隷として働かされている。そんな光景に耐え切れなくなった男が、行動に出る。

序章：俺が今から始める事は

…見ていて気分を害す

幼い女の子にムチを振るい、田を耕させているのだろうか、労働を強いらせている30代後半の男が家から見える。

息をきらしながら田を耕す麻布の服の少女の頭には犬のミミが付いている

察するに彼女はメフィストの転生人種だろう

ここ北ファイセクト大陸には、いや、正確にはこの世界には魔物がいる。

魔物と言っても多くの人が想像するだろうス イムやド キー（には同じ言葉が入る）みたいな人を襲うようなことしか頭にならない野蛮な生物のことではない。

「幻獣」と呼べば思い浮かぶだろうか？

そう、神話に出てくる「ユニコーン」とか「ペガサス」とかそういう類いの動物だ。

幻獣は変異種も含め、1360種以上の種族がいる。

幻獣たちは決して人の手の加わった土地には決して踏み込まない。これは古くからの人間と幻獣の暗黙の了解だった。

そう、幻獣たちは決して踏み込まない。

だが、1360種もの幻獣とは別に分類される、人間に害を与える獣、そう、それこそス イムやド キーみたいな獣、「境獣^{きょうじゅう}」がいる。

境獣は幻獣たちのおよそ三分の一ほどの480種程度の種族しか居ないが、大きな魔力、物理的な力を持つ境獣は一匹でも人間の大きな驚異になる。

幻獣も境獣も勿論「獣」だ。どちらも人間とは姿も言葉一（多くの獣は鳴き声、テレパシーである。また、ワルキューレなど一部例外もいる）も違う。

君には「なら何故さっきの犬ミミ少女は人間の少女の姿をしていたのだろう」という疑問が残るだろう。

詳しく話せば長くなるだろうから手短に話していこうと思う。

十数年前に、ロイルマナレスト大学幻獣学部教授、ウェルト・ダイルが、境獣を殺さずに安全化する為の方法として「境獣転生」の方陣を完成させた。

境獣転生とは、簡単にいってなんだ、境獣を人間にしちまおうって呪文だ。

まあ長年の研究で境獣の魔力や力学的エネルギー、容姿の特長を完全に封印することは出来ないことは解ったらしいが。

手順も簡単に説明しようと思う。

まずは境獣の魔力を弱らせなんらかの方法で転生方陣の中心に誘導、移動—（ヴァジュラなど一部の大きすぎる境獣の場合は対象を中心に方陣を書く場合もある）させる。

その後拘束魔法を唱え、境獣を拘束し、転生魔術を唱え、方陣からドーム形に白い光が出て、暫く鳴き声や喘ぎ声、他にも色々聞こえるが、3分後には光も消え、方陣の中心には人間が倒れている、とそんな感じだ。

この方法で「人」になった境獣は魔力に限界があり、一定ベクトルのエネルギーを越えると、動けなくなってしまう。つまり、人間に逆らうことができない、人間より弱く見られる彼らは劣性人種とみなされ、奴隷として労働を強いられる。

そこで色んな大陸のお偉いさんが考えたわけだ

「転生人種は力も強く、労働に使えるぜ、でも転生にはリスクがかい、どーにか簡単に確保出来ないか」

つてな

んで此処からが都合主義本番な展開だ。

某年のある日、親とはぐれ、町に迷い込んだ子供のクリウス—（熊に似た幻獣）がパニックになり、暴れている所に転生術士が通りかかって転生魔術をかけたら、くまのフードコートを着た女の子が出来たっていうニュースが流れた。

そんな事件があったもんで大陸間協議なんかがあつて、激論の末、

森に立ち入って幻獣も人間にして奴隷にしまおうって計画が出来た。

そんなこんなで…いまの現状がある。

考えただけでイライラする。

そこで幻獣学部卒の俺が動かない訳にはいかないだろうって事で、ちよつとばかり行動にでることにした。

そう、保護団体に入る事にした。

今ちよつちいなって思ったる？

ちやつちくなんかない。俺が入る幻獣保護団体は…

転生人種入団可能の特殊ギルドだ。

おっと、もうこんな時間か、ギルドのある町までの出発は明日。

詳しくは明日歩きながら話す事にしよう。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3859z/>

幻獣ぱれっと!

2011年12月13日00時56分発行